

## エステル断食

2014年3月6日

紹介ビデオはこちら。



3月13日木曜日に行なわれるワークショップ、祈りと断食の12時間 にどうぞご参加ください。ペルシャ帝国時代にエステル妃がその手本を示した事に従い、私たちは集まって主を求めます。今回のイベントはエルサレム時間 am6:00~pm6:00（日本時間 pm1:00~am1:00）に行なわれ、ライブストリーミングでも見る事ができます。スケジュール、祈りの課題、ビデオやその他は

こちらをクリックください。 <http://reviveisrael.org/esther-fast/>

**\*重要\***

3月13日にライブストリーミングをインターネットで見るためには、こちらをクリック下さい

<http://reviveisrael.org/esther-fast/live-stream>

**パスワード** : prayforisrael

(パスワードはウェブサイトのどこにも出ていません、ご注意ください)

## 肉を犠牲とすることの難しさ

アシェル・イントレータ

2000年前のローマ兵は、人を十字架にかける時に、感情的な困難を感じたのでしょうか。もしかすると、何人かの兵士はサド的でその作業を楽しんでいたかもしれません。また何人かは、中立的に単純に「仕事をこなすだけ」だったのかも知れませんし、他の兵士は良い人（かの百



この記事が無断で転載、使用をしないで下さい。この記事の著作権はすべて Revive Israel にあります。

人隊長のように)で、苦しんでいる当事者に対してあわれみを感じていたかもしれません。

兵士たちにとって物理的にも難しい作業だったのでしょうか。受刑者が暴れた場合、任務を遂行するのに5人の兵士が必要だったのでしょうか。1人1本の手か足を押さえ、1人が釘を打ち込む。

イエシュア(イエスさま)は、自ら進んで捕えられたように、多分暴れはしなかったと思われます。そういった自発的な態度は兵士たちを驚かせたに違いありません。主は「私の思いではなく、御心通りに行なってください」(マタイ 26:39)と祈っておられることを見ると、すでに覚悟はできていたのでしょうか。主は、全世界にとっての、より大きな利益のため、御父の恵み溢れる御手により制御されたところの悪人の手を用いて、えん罪の罰を受けることを受入れたのです。

## 双方向通行

十字架は「双方向通行」であり、一方向では、私たちは何もしなくて良く、イエシュアが全てを成してくださいました。もう一方向では、「自分を捨て、日々自分の十字架を負」うよう言われています(ルカ 9:23)。これら2つの方向はバランスが取れており、全ては主の十字架による恵みなのですが、その十字架にスイッチが入れられ、私たち自身の魂に適用されることが必要なのです。

私たちは「主とともに十字架につけられ」(ガラテア 2:20)、「肉を十字架につけ」(ガラテア 5:24)、「世界は私に対して十字架につけられ」(ガラテア 6:14)たのです。どれほど難しいことでしょうか。[別に、自分自身に物理的な痛みや心理的苦痛を与えることを指しているのではありません。]

肉を十字架につけるとは、人間社会および私たち自身の自己中心性に深く浸透している、傲慢や情欲といった破壊的な力を阻止することを意味します。究極的には傲慢や情欲を阻止することは不可能で、神さまの助けが必要です。「悪い欲望を殺す」にはセルフコントロールだけではなく、イエシュアが私たちのために何をしてくださったかを信じる信仰によるのです。

## 歯科治療のように

それはまるで歯医者に行き歯根管治療を行なうことと対比できます。最近私は親知らずを抜きました。そこでは背もたれを倒した椅子に横になって、歯医者さんに「お願いします」と言うことしかできないのです。

私たちは自分自身を十字架に付けることはできません。それはイエシュア自身もできなかったのです。しかし私たちが祈りによって自身を明け渡す時、神さまは「兵士」と「釘」、つまりその任務を遂行するための人と道具を用意されます。傲慢さや情欲は私たちの内に深く「根を張って」おり、禁断の樹の実（罪）に真っすぐ向かっていく道筋なのです。だから「根管」から抜いてしまう必要があるのです。

神さまはあなたの人生において、「肉を十字架」につけるため、あなたを手伝う人と状況を用意されているでしょうか。私たちは拒否している、それとも受入れているのでしょうか。わたしたちは、十字架にかけられていた、神を冒瀆するほうの犯罪者のようでしょうか、それとも、相応しい裁きであることを理解していたもう一方の犯罪者のようでしょうか。神さまからの訓練を、最終的に私たちをより大いに祝福するため、また傲慢さや情欲の根を引き抜くために必要な、恵みの行為だということを理解しているでしょうか。この記事をもう一度読み、あなた自身の内にあるあなたのためのイエシュアのお働きが成就されるよう祈りましょう。

## アリエルのインタビュー—アジア訪問

**Ariel:**

**コーディ:** アリエル、アジアへの重要で集中的な訪問をもうすぐ行なうと聞きました、どのくらいの期間行くのですか。

**アリエル:** 16日間（3月13日~28日かけ、11便の飛行機で5カ国を訪問します。



**コーディ:** どこに行つて、どんな計画があるのでしょうか。

**アリエル:**

**タイ:** 親密な友人で、信者であり、リバイブイスラエルのパートナーであるアミル・マークの結婚式を司式します。彼は東南アジアの多くの元イスラム教徒のクリスチャンたちの牧師・伝道者です。またリバイブイスラエル翻訳チームのメンバーと会い、祈りの課題である、タイ語への定期的な翻訳ができるよう調整します。

**香港:** クリスチャンとしてプリムを祝おうとしている大きな教会で、メッセージを取り次ぎます。

また中国でのリバイブイスラエルの事務所設立に興味をもっている何人かの親友にも会います。

**韓国**：私たちとの関係を強めるための鍵となるリーダーたちや、韓国でのリバイブイスラエルの事務所設立に興味をもっている何人かの親友にも会います。

**中国**：中国では3つの都市へ行き、リバイブイスラエルが持つビジョンを分かち合うリーダーたちと会います。2015年に私たち家族は中国で1年半の間、中国に住み、勉強することにしています。そのことについて他の可能性を持つ人物を個人的にスカウトするつもりです。ある都市では、中国の知識層のグループに対し、「西洋化における聖書の影響」という議題で講義を行ないます。

**日本**：2014年にエルサレムで行なわれる大聖会の準備のため、アジアのリーダーの皆さんと会います。

### 祈りの課題

- 長時間のフライト、時差ぼけ、会合において必要な身体的強さと恵みが与えられるようお祈りください。
- エルサレムで留守を守ることになる家族の霊的、また身体的に守られるように。
- 円滑なコミュニケーションが図られ、それぞれの会合に素晴らしい成果があるように。

アリエルの旅行について興味がある方、またお祈りしたい方は、どうぞこちらから彼のブログにアクセスください（英語）。

<http://arielbkingdomblog.wordpress.com/>

**\*重要\*** このブログは個人のもので、こちらへのアクセスのリクエストはワードプレスのアカウントを取得する必要があります。ワードプレスのユーザーアカウント（ブロガー以外）はこちらで作れます。

<https://signup.wordpress.com/signup/?user=1>

## エステル断食スケジュール

### 2014年3月13日祈りのポイントとワーシップリーダー

6:00 – 7:00 ワーシップ

7:00 – 8:00 祈り—イスラエル（ローマ 11:12-26）

- 救い
- 政府と国家安全
- 社会正義と信教の自由

8:00 – 9:00 ワーシップ

9:00 – 10:00 祈り—中東の国々 / イスラム教徒たちの救い（イザヤ 19:18-25）

- イスラム / ジハード
- イスラム教徒たちへの伝道
- イスラエルとの関係回復
- イスラムの中での反ユダヤ主義・反シオニズム

10:00 – 11:00 ワーシップ

11:00 – 12:00 祈り—世界の国々（使徒 1:8, マタイ 24:14, 黙示録 11:15）

- 世界伝道
- 政府/ 指導者たち
- 預言的な最終目的

12:00 – 13:00 ワーシップ

13:00 – 14:00 メッセージ – アシェル・イントレータ（エステル書）

14:00 – 15:00 祈り—終わりのとき（ザカリヤ 14:1-9）

- イエシュアに戻る
- 大患難時代における勝利
- 地上での「御国」

15:00 – 16:00 ワーシップ

16:00 – 17:00 祈り—メシアの身体（ヨハネ 17:21-23）

- 一致
- 伝道
- 聖であること
- イスラエルに繋がっていること、エステルやルツのような立場

17:00 – 18:00 聖餐